

NPO法人 相馬フォロアーチーム

ニュースレター 2月号

発行日 平成25年2月1日

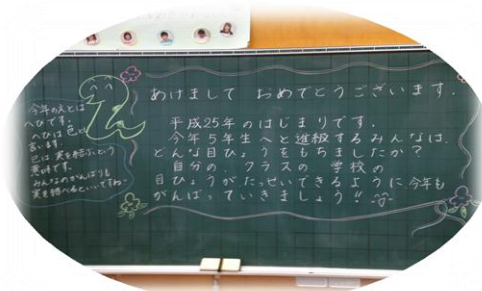
厳しい寒さが続いています、いかがお過ごしでしょうか？相馬市の小中学校では3学期が始まりました。2月号のニュースレターでは、新学期の学校の様子やホールボディカウンター、放射線講話についてお伝えしたいと思います。





3学期始まる!!

相馬市内の小中学校では3学期が始まりました。写真は、始業式当日の小中学校の教室の黒板に書かれた新年の言葉です。それぞれのクラスで違った言葉や絵が描かれていました。教室に入ると、1年生の女の子が『今年も宜しくお願いします』と挨拶をしてくれました。すると他の1年生の子どもたちも集まり、『今年も宜しくお願いします』と皆で挨拶をしてくれました。1年生の礼儀正しさに驚きましたが、こちらも礼儀正しく『今年もお願い致します』と深く頭を下げ、新年の挨拶をしました。担任の先生は1年生の子どもたちとのやりとりをニコニコとした笑みを浮かべ眺めていました。



放射線講話



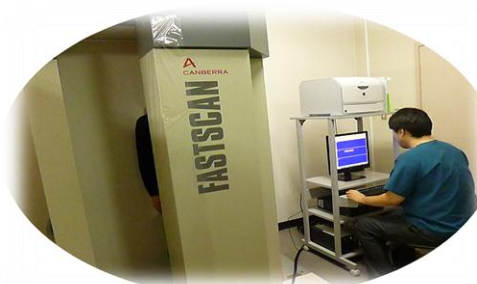
放射線等の基礎知識や人体への影響、放射能から身を守る方法などについての理解を深めることを目的に中村第二中学校で放射線の講話が行われました。中村第二中学校の生徒に加え、磯部中学校の生徒も体育館に集まり、熱心に耳を傾けていました。講師は、東京大学医科学研究所研究員の坪倉先生が務められ、身近な例や絵などを使い、子どもたちにもわかりやすいように説明をしていました。ホールボ

ディカウンター及びガラスバッジの調査結果も併せて報告がありました。最後に、生徒の代表が『今回の講話で学んだことを活かし、これからも放射線に注意を払っていきたいと思う。』と感謝の言葉を述べていました。放射線や放射能への過度な不安を払拭し、安心した生活を営むには放射線や放射能を恐れるばかりではなく、正しい理解や知識を得ることが大切であると改めて感じられる講話でした。



ホールボディカウンター

相馬市では、市民の健康不安と将来に渡る健康管理のため、ホールボディカウンターによる内部被ばく検査を昨年の6月11日から行っています。私たち、フォロアーチームも相馬中央病院でホールボディカウンによる検査を受けました。検査結果は、全員未検出であり、安心をしました。また、子どもたち（6歳から15歳）の日常生活上の慢性的な内部被ばくは抑えられているようです。





～訪問活動実績～



相馬フォロアーチームでは、スクールカウンセラーが児童生徒の心のケア活動、保健師が教職員や仮設住宅にお住まいの保護者への健康相談活動を行っております。

訪問先	1月の訪問日
中村二小	8,10,15,17,22,24,29,31日
中村二中	9,10,16,17,21,23,24,28,30,31日
磯部小	8,11,17,18,22,日
磯部中	9,16,21,23,28,30日
日立木小	8,15,22日
山上小	11,18,25日
仮設住宅	8,10,16,17,21,24,25,31日



～お問い合わせ先～



お子さんのことでご心配なことはありませんか？
事務所にて、無料の相談も承っております。
下記まで、お気軽にご連絡ください。

〒976-0042

福島県相馬市中村2丁目2-15

Tel : 0244-35-6200

Fax : 0244-35-6215

Mail : sft@soma-ft.org

HP : <http://www.soma-ft.org/>